



菩提寺まちづくり協議会

平成 25 年 3 月 25 日

まち協だより 19 号

事務局 菩提寺まちづくりセンター内 Tel 0748-60-1381
発行責任者 事務局長 田畑 一佳

震災のノウハウを活かしたバンブーハウス建設



B・B 大作戦

プロジェクトリーダー

保田 芳利

模型 県立大提供



竹林模型

きらめき湖南地域活性化推進事業として、平成 24 年度に菩提寺区が所有する竹林を整備して憩いの場づくりに取り組んできました。

竹の家（バンブーハウス）を東北の震災跡地に建設した実績のある、滋賀県立大学の教授並びに学生さんに建てていただくように依頼し、まち協と協働することで進めてきました。まず、荒れ果てた竹林を整備することから始めました。まちづくり協議会の運営委員が総出で枯れたり倒れたりしている竹や雑木を整理し、草刈りをして環境を整え、バンブーハウスの建設場所

は確保できました。測量を終え、この 3 月末には約 25 m²のバンブーハウスが完成する見通しです。

これから、この建屋を憩いとふれあいの場として、又、小学生の自然観察や体験学習に供する場所として有効に活用していきます。一方、竹林の面積が 3,000 m²と広く、当初の遊歩道をつける構想にはまだまだで、続けて整備を進めていかなければな

りません。そのため、平成 25 年度も引き続きこの事業を推進して行きます。この竹林整備が菩提寺地域全体の住民皆様のふ

れあいと癒しの場所になるように活動しています。

コミュニティセンターの進捗状況について

コミュニティセンター対応プロジェクト

プロジェクトリーダー 栗津 寛三

かねてより計画されていましたが菩提寺コミュニティセンター(仮称・以下コミセン)が、ようやく“本格的”に進みだしました。

心配をされていたことと存じますが、中途半端な報告での混乱を避けるため、目処のたったこの時期に“まち協だより”で、中間報告をさせていただきます。

本計画のコミセンは、地域に密着したまちづくり活動の拠点として位置づけたも

のであり、湖南省とコミセン対応プロジェクト(菩提寺まちづくり協議会・学区区長会)が長期にわたりプランの検討を重ねてきたものです。

計画実施に際し市が各関係機関との法令協議(保安林解除など)に時間を要し、昨年 10 月より計画が再開しました。2 月現在、地質ボーリング調査を終え、敷地造成工事の設計を市においてまとめているところです。

今後の予定としまして、平成 25 年度は敷地造成工事とともに、菩提寺 7 区住民より寄せられた要望を踏まえたもので、本当に住民が必要とするコミセンの建築詳細設計を実施する運びになっております。

なお平成 26 年度末(平成 27 年春)には、建築工事を完成させ供用開始の予定で計画を進めています。

ご期待ください！！



文化芸術委員会

「歴史の小径」に訪れる方が年々多くなり、植栽した樹木も根付き、5 年の歳月が落ち着いた散歩コースへと成長させてきました。昨年からはじめた「つつじ・あじさい・しゃくなげ」の花壇も花が咲き、今年も 100 本植樹し、今後も花壇を拡大して行く計画です。

24 年度の主な活動は、「霧降の滝」へ

広報委員 馬場正勝

の進入路のつなぎ整備、「菩提寺の四季と祭り」の動画 DVD の製作、菩提寺小学校と菩提寺北小学校の 6 年生の歴史学習の成果をカルタにして残す事や、新しい試みの身近なスナップ写真展「ほのぼの写真展」など、ほぼ計画通りの活動を進めることが出来たと思っております。

25 年度も「歴史の小径」「霧降の滝」

への進入路の整備や、植栽・花壇の拡充など、継続性のある活動に加えて、新規テーマとして龍王山（菩提寺山）登山コースの整備・標識の充実などを計画しています。毎月第4日曜日の午前中を定例活動日と

しています。地域の魅力の掘り起こしや、地域ブランドに育てる種子の発掘などに興味のある方は、高井（74-1094）迄ご連絡下さい。みんなで汗をかいてみませんか。

ウィンター・カーニバル

人材交流委員会

1月19日（土）、菩提寺北小学校のウィンター・カーニバルに集まった子供達が、「ストロー・飛行機」や「紙・飛行機」など



「飛行機づくり」

広報委員 松本 高治

お父さんお母さんと一緒になって、飛行機づくりを楽しみました。



はじめませんか 生ごみリサイクル！

地域活性化委員会

毎日出る生ごみ。どのように処理していますか？ダンボールを使って生ごみを肥料に変えるリサイクル方法があります。生ごみに少量の米ヌカを混ぜダンボールに入れておけば数週間で立派な堆肥・肥料が



広報委員 白阪 聡久

完成します。地域活性化委員会では5年前より、このリサイクル活動に取り組み、学区内はもちろんのこと、他区のまちづくり協議会とも連携し、市内全域で普及させてきました。また、発酵促進剤の研究やふやけにくいダンボールの発掘など、さらなる普及に向けた挑戦も始めています。

昨年はサイドタウンや近江台の自治会の協力のもと講習会を開催し、多くの参加者がありました。今年度も学区内の団体やサークルであれば出張講習を行います。ご希望の方は下記までご連絡下さい。

ゴミを減量して、みんなでエコなまちをめざしましょう！

福祉・安全委員会

委員長 藤原 光司

2月3日、民生児童委員の協力のもと、未就学児の親子を対象に福祉事業として『すくすく広場』を開催したところ、大人30人子供43人の参加がありました。子ども達が遊んでいるかたわら、石部幼稚園の元園長松島先生の子育てをテーマに講演をしていただきました。その後は、親子で『ケーキ作り』『石部太鼓の演奏』『豆まき

の体験』を行いました。石部太鼓さんには、御好意により子ども達に太鼓をたたかせていただきました。また、主任児童員、まち協のスタッフが鬼役となり豆まきをしました。初めは怖がっていた子ども達も、後には鬼さんと記念撮影をしたりして、すっかり仲良くなっていました。



2月17日、消防署救急隊隊員の方々の指導による『普通救命講習』を実施。各自治会から、男性19名女性5名計24名に参加していただきました。前半の座学の後、心肺蘇生法の実施講習・AEDの取扱方法を説明していただき、後半には、心肺蘇生

とAEDを使った演習を行いました。心肺蘇生では体力が必要なため、女性の方には大変そうでしたが、皆さん真剣に取り組んでいただきました。

今回受講の皆様には、後日『普通救命講習修了証』をお渡しします。

